

フレンズ

年次総会を開催

4月10日 文化の家光のホールで

文化の家フレンズの2010年度総会が、4月10日土曜日、文化の家光のホールで開催されました。

当日、総会に出席された会員のほか、ハガキによる委任を含めて総会の成立が確認され、議長に水野美々子さんを選出、4月に文化の家事務局長に就任された伊藤局長より祝辞をいただいた後、議事に入り2009年度の活動報告、会計報告を全員の賛成で承認。続いて2010年度の活動計画案・予算案を提案どおり可決しました。

また、新年度の役員を別掲のように選出して総会を終えました。



総会で議長を務めるフレンズ水野会長



総会後のアトラクションに参加いただいた「ニューセンチュリーコーラス Nagakute」の皆さん

総会後のアトラクションとして「ニューセンチュリーコーラス Nagakute」の皆さんを招き、美しいハーモニーを堪能し、総会参加者も加わって「花」「故郷」の名曲を合唱し会場は一体となりました。

フレンズのついでPart. 23

本格的ポリネシアンダンスショー

8月1日(日) 文化の家 森のホール



8月1日(日) 文化の家森のホールでフレンズのついでPart. 23として本場ハワイでも活躍する酒井信代さんと、フラ&ポリネシアンズによる「トロピカルサンセット」ダンスショーを開催します。

フレンズのついでに向かって酒井さんの協力を得ながら舞台装置をスタッフで考えたり、フラダンスの無料講習会を開催し、8月1日当日には、入場者の皆さんも出演者の方と一緒に盛り上げていただけるよう事業部スタッフの人達も秘策を練っており、多

くの方の入場をお待ちしています。

フラダンス無料講習会

チケット購入者のみ

文化の家展示室で、6月2日と7月7日の二日間フラダンスの無料講習会が開催されます。チケット購入者のみの特典として各回先着30名様を講習会にご招待します。

チケットは、フレンズ会員向けは5月1日、一般は5月8日より発売します。詳しい内容についてはポスター・チラシをご参照ください。

平成22年度フレンズ役員

- | | |
|-----|--------------------------|
| 会長 | 水野美々子 |
| 副会長 | 福岡八重子 (研修部長) |
| 副会長 | 阪上由美子 (事業部長) |
| 会計 | 山口節子 (事務局長) |
| | 鈴木多恵子 (当日運営部長) |
| 監査員 | 岩瀬信廣 (機関紙部長) |
| | 牧野洋子 (研修部副部長・兼マニュアル講座担当) |
| | 近藤一英 (文化の家職員) |

酒井信代さんのプロフィール

幼少よりダンスを習い、19歳より名古屋でフラダンスを始める。2004年にハワイの鬼才ジョニー氏に師事し本場のフェスティバルのソロ二部門で優勝。



ダンサーとして活動するかたわらポリネシアンダンスの指導者としても活躍中。

文化の家

新職員の紹介

4月に行われた長久手町役場の人事異動にもない、文化の家に4名の職員が配属されました。すでに顔なじみの方、あるいはフレッシュな方と顔ぶれは多彩ですが、ともに文化の家の運営に力を十分に発揮していただくとともにフレンドズの活動にも力強いご支援とご協力をいただけるよう、よろしく願います。

「ただいま」という感覚です

今後ともフレンドズと良好な

関係を



事務局長
伊藤 正尚さん

4月の人事異動で、まちづくり協働課から文化の家事務局長として配属されました伊藤正尚です。

平成18・19年と文化の家の管理係長として勤務していただきましたので、しばらく席をはずしていただけたので、「ただいま」という感覚の方が大きいです。

まちづくり協働課の時も、たびたび観劇に来ていましたし、ボランティア精神の旺盛なフレンドズの皆さんと、様々なイベントなどの催しの場面でお会いしましたし、個人的に所属する長久手フィルハーモニー管弦楽団の演奏会ではいつも大

変お世話になっており、本当に心強い存在に成長されたと感じております。

今後ともこの良好な関係を保ちながら、ともに利用者の皆様に愛される文化の家の運営していきたいと思っておりますので、よろしく願います。

「文化の家」開館時に

フレンドズの皆さんと

協力し合いました



局長補佐
加藤 登美子さん

消防本部総務課から、文化の家の局長補佐として配属となりました加藤登美子です。

8年ぶりの文化の家の勤務となります。平成10年から13年まで4年間に在籍していました。

開館当時はホールのことを全く何も知らず、職員もフレンドズの皆さんと協力し合って活動していました。

近頃の私は、客としてたまに公演を鑑賞に来る程度ですが、そこでフレンドズの皆さんのホールでの対応がとても慣れていて、感心します。

再び事務局としてお客様に接する側になります。よろしく願います。

早く新しい仕事に慣れ

配属を機会に

文化・芸術を学ぶきっかけに



管理係長
山田 美代子さん

人事異動で、保健医療課から文化の家の管理係に配属となりました山田美代子です。

文化の家で働くのは初めてで、これまでと全く業務が変わり戸惑いもあります。早く新しい仕事に慣れるよう頑張っています。

これまででは映画を観る程度と、文化とは程遠い生活を送っていましたが、今後は、文化・芸術をより身近に感じることができ、この文化の家で働くことを契

機に様々なことを学びたいと思います。フレンドズの皆さんと一緒に文化の家を盛り上げていけたらと思いますので、よろしく願います。

お客様に気持ち良く

ご利用いただける文化の家へ

これからは演劇や演奏会に関心も



管理係
杉谷 茂光さん

文化の家の管理係に配属されました杉谷茂光です。3月までは、安心安全課で交通安全や防犯にかかわる仕事に携わっていました。

右も左もわからない未熟者ですが、一日も早く仕事を覚え、皆さまに気持ち良く文化の家を利用していただけますように一生懸命頑張っていきますので、よろしく願います。

今まで私は、演劇や演奏会などを鑑賞したことはありませんでしたが、文化の家の配属を機会にこれから興味を持って触れていきたいと思いますので、よろしく願います。

舞台の顔は本当の顔？

マエストロの心遣い

ユールンヤコブ・ティム(チェロ奏者/ドイツ出身)

少し前のお話になってしま

いますが、昨年7月にドイツからライブツイヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団首席チェロ奏者のユールンヤコブ・ティムさんをお招きし、風のホールでリサイタルを行いました。

約300年の歴史を誇るオーケストラの団員の中で最もベテラン格にあたるティムさんは、まさにドイツの伝統の継承者であり「世界遺産」のような方です。しかしながら人柄はとても穏和で、周りの人を気遣うジェントルマン。

なんととっても柔らかで深く響くような素敵な「声」が魅力的でした。

地元アーティストとの共演やレパートリーにない演目のリクエストにも「やったことがない曲に触れられるなんて光栄です」と喜んで引き受け

てくださいました。
その中にポップスの「2つのチェロのための組曲」とい

う演目があり、地元の実力派若手チェリスト山際奈津香さんと共演するにあたり、最初のリハーサルで「少しだけチェロを交換して弾いてみよう」とティムさんから提案がありました。その意図は「相手の楽器の音色や特徴を知ること、アンサンブルの密度を高めていく」というものでした。



ティムさんのチェロは1700年代前半に製作されたもので、20世紀前半に活躍したユリウス・クレンゲルというゲヴァントハウスの管弦楽団の名手から譲り受けたものです。しかしその銘器はなかなか簡単に弾き

こなすことが難しい「頑固者」でもあったようです。

このリサイタルはおかげさまで早々に完売し本番を迎えました。「完売御礼」は主催者としても名誉なことですが、お客様ののご案内や誘導は満席のときほど細心の注意が必要となります。クラシック・コンサートの場合、遅れてみえたお客様をどのようなタイミングで入れるのか、事前にアーティストあるいはマネージャーと打合せを行います。ティムさんは「第一楽章が終わったらお客様をぜひ入れてあげてください。その様子をみて次の楽章に入りますから」と言ってくれました。

この日はやはり数名遅れたお客様がみえましたが、ティムさんのお心遣いで無事ご着席いただき、滞りなくコンサートを進めることができました。

ところが、コンサートが終わると知り合いの何人かから「遅れ客を入れた時に、アーティストがそちらの方をずっ

と見ていて、ちょっとコワかった…。怒っていたのでは？」と言われてしまったのです。なるほど確かにティムさんは身体も大きく彫りも深くて（ちよつぱりコワ面かな？）、本番中なのでニコニコしているはずもなく、そう見えても仕方なかったかもしれません。

本番の舞台は、アーティストにとっても日常とは違う特別な場所です。舞台の表と裏でこの仕事をしていると、ステージ上で見た姿がすべてではない。そう思えてしまうことが多々あります。

この場をお借りして、「あのとき、ティムさんはお客様を温かく見届けてくださった」ということをお伝えしておきたいと思えます。

文化の家 事業係 生田創



おすすめ 聴きどころ 観どころ ワンポイント紹介
詳しくは、文化の家チラシなどをご覧ください



スティーヴン・イッサーリス チェロ・リサイタル

ここがおすすめ！

世界のトップ・チェリストが、長久手にやってきます。
いまやイッサーリスは、心技体が最も高みに達した円熟期を迎えています。ガット弦を使用し、そのふくよかで温かみのある音色は、彼が使用している名器ストラディヴァリウスの魅力をさらに引き立てます。
世界中からオファーが絶えない最高峰のチェロ・サウンドをお聴き逃しなく！

- とき 2010年6月20日(日)
開場14:30 開演15:00
 - 会場 長久手町文化の家 森のホール
 - 出演 スティーヴン・イッサーリス(チェロ)
コニー・シー(ピアノ)
 - 曲目 ショパン(生誕200年)
チェロ・ソナタ ト短調 op.65
フランク:チェロ・ソナタ イ長調ほか
 - 料金 【前売】フレンズ 3,500円
一般4,000円、学生2,000円
【当日】フレンズ・一般 4,500円
学生 2,500円
- ※全指定席 ※未就学児の入場はご遠慮下さい。

文学座公演「めけがら」 第50回 岸田國士戯曲賞受賞作

演出 松本祐子・千田是也賞受賞。 待望の長久手公演！

— 鈴木卓也、42歳。郵便局をクビになり、妻には愛想をつかされて、おふくろも死んでしまった。残ったのは俺と84歳の親父だけ。
そんな俺に、月の明るい夜、とんでもないコトが起きた——。



- とき 2010年6月30日(水) 開場18:30 開演19:00
- 会場 長久手町文化の家 森のホール
- 作 佃 典彦(劇作家・俳優・劇団B級遊撃隊主宰・日本劇作家協会 東海支部長)
- 演出 松本祐子
- 出演 林秀樹、鶴澤秀行、関輝雄、高橋克明、若松泰弘、椎原克知、柳橋朋典、山本郁子、奥山美代子、太田志津香、添田園子
- 料金 フレンズ 1階席 3,500円 2階席 3,300円
※フレンズは前売のみ
一般1階席 4,000円 2階席 3,500円
※全自由席 ※未就学児の入場はご遠慮下さい。

★耳より情報 フォルクハルト・シュトイデ特別公開講座 (公開レッスンと演奏/通訳あり)

- とき 2010年5月19日(水) 14:35~17:00ごろ
- 会場 愛知県立芸術大学 大合奏室
- 出演 フォルクハルト・シュトイデ
(ヴァイオリン/ウィーンフィルコンサート・マスター)
三輪郁 (ピアノ/通訳)
- 入場無料 (申込不要)
- 内容 ①公開レッスン(県芸大学生1名) ②演奏
- お問合せ 愛知県立芸術大学芸術情報課 TEL0561-62-1180

編集者コラム

子どもが巣立ち、夫がリタイアした後は夫婦生活の第3世代に入る。今までの夫婦の関係も変えていかねばならない。特に相手を名前では呼ばない人は問題だ…と退職後のセミナーで聞かされた。「あのさア〜」「お〜い」「チョットさあ」「ねえねえ」…結婚以来39年間、なんという呼び方をしてきたのかと改めて思う(反省)。しかし「〇〇さん(汗)」と名前を呼べたのはセミナーを受講してから、さらに2年もかかった。新しい段階に進めたのかなあ〜…。皆さんのお宅はいかがですか？

(も)

万博と光のホール

長久手在住 ミッキー

ほっと
すぺーす

皆さま今日は、私の名前はミッキー(ニックネーム)です。私が長久手に住んだのは一九八一年つまり二十九年前になります。当時は緑と山林に囲まれ、あたりには民家も少なく静かな所でした。その後、区画整理で里山は削られ、数ヶ所あった池も埋められたり、住宅、学校、体育館、図書館、文化の家、ショッピングセンター等が建てられ二〇〇五年にはこの地に万国博覧会が開かれました。これをきっかけに長久手の町の上にはリニモが走り、今では通勤・通学の便利な足として利用されています。お陰で街並もきれいに整備され非常に住みやすい環境となりました。

万博には、世界各国から多勢の外国人が集まり、国際交流の一環として、文化の家「光のホール」でミニ・スピーチコンテストが開かれ、私も英会話を習っている教室からの有志ということで英語で参加しました。一人の持ち時間は五分間、万博開催までの長久手町の変化、戦国時代の話も紹介しました。残念ながら入賞はなりませんでした。残念ながらも自分にとっては一番の思い出となりました。優勝したのは中国人の女性でした。そして「ござらっせ」でも世界の人々と歌を歌い踊りました。

今は毎週文化の家の「舞踊室」で社交ダンスに励んでいます。